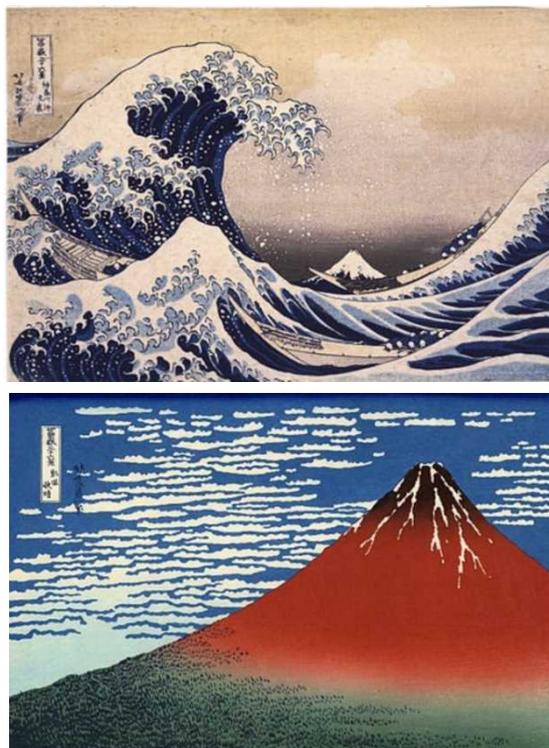


55 世界文化遺産・富士山（2021年5月11日）

浮世絵師の葛飾北斎（1760-1849）が様々な角度から富士山を描いた「富嶽三十六景」の中で、特に有名な「神奈川冲浪裏」と「凱風快晴」（通称「赤富士」）を目にしたことがある方は多いと思います。私はフランスに来て、これらの図柄を使ったマグカップ、ペーパーナプキン、マウスパッド、トートバッグなど様々な商品を見かけました。2015年には、フランス郵政公社（La Poste）が、「神奈川冲浪裏」の図柄の1.9ユーロ切手を発行したことで、より広くフランスで知られるようになったのかもしれませんが。



富士山には神が宿ると考えられて、古くから信仰の対象となってきました。古代から日本人に愛されてきた山であることの証明として、8世紀半ばに成立した日本最古の和歌集である「万葉集」には、富士山を詠んだ歌が収められています。時代を経て、富士山は数多くの文学作品や絵画の題材となりました。北斎の「富嶽三十六景」が、ヨーロッパの芸術家にも大きな影響を与えたことは知られています。そして、2013年に「富士山-信仰の対象と芸術の源泉」がユネスコの世界文化遺産に登録されました。このタイトルは、古くから山岳信仰の対象となり、日本だけではなくヨーロッパの芸術にも大きな影響を与えた富士山の文化的な価値を端的に表していると言えます。

標高 3776 メートルで日本一高い富士山は、文字通りに山型の美しい姿が昔から日本人を惹きつけてきました。実は、世界中に数多くの「富士山」があることをご存じでしょうか？富士山に似た美しい形の山には、「富士」という名前を使った別名がつけられました。例えば、北海道には蝦夷富士（羊蹄山）、青森県には津軽富士（岩木山）、鹿児島県には薩摩富士（開聞岳）があります。蝦夷、津軽、薩摩とは、それぞれの場所の昔の地名です。富士の名前を使った別名を持つ山は、世界中に 400 余りあると言われています。

パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

日本には、ヨーロッパのアルプス山脈にちなんで名付けられた日本アルプスと呼ばれる山脈があります。フランスには、「富士」と名付けられそうな山がどこかにあるでしょうか？



Photo : Ville de Fuji, Shizuoka, Japon
写真：静岡県富士市



Photo : Ville de Fuji, Shizuoka, Japon
写真：静岡県富士市